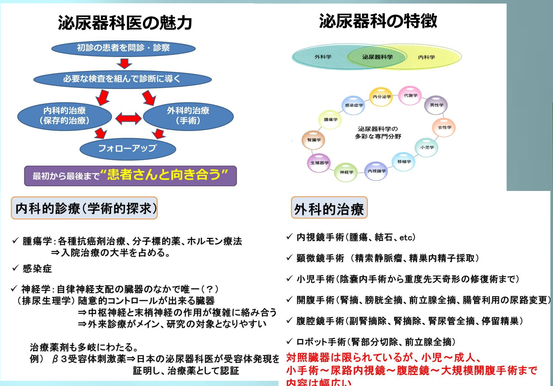
合同入局説明会

腎泌尿器外科学講座



全国的に泌尿器科では
女性医師が不足しています！！

泌尿器科

女性の排尿障害や女性泌尿器科医の少なさについて語る田口ゆかさん ＝東京女子医大東医療センター

来たれ！女医さん

女性患者は増えているのに…

（注）当該記事は、産経新聞5月19日付「来たれ女医さん」によるものです。

泌尿器科医としての歩み

1-2年目
- 初期研修（研修希望科を自由に選択）
- 他病院にて研修
- 希望により泌尿器科の研修

★ 入局時期はいつでもOK

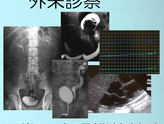
3-6年目
- 後期研修
- 泌尿器科医としての基礎を修練
- 大学病院、関連病院を交互に研修

外来診察

病棟管理

内視鏡検査

内視鏡手術


画像、生理機能検査

血液浄化療法

ESWL

★ 日本泌尿器科学会専門医取得

6年目～
- 泌尿器科全般のさらなる研修（難易度の高い手術など）を積みつつ専門分野（腫瘍、排尿、小児、結石など）を選択
- 国内、国際学会発表
- 大学院にて基礎研究
- 専門性（癌、結石など）をもった国内研修施設にて研修
- 国内、海外研究留学

開腹手術

鏡視下手術

ロボット支援手術（da Vincii）

基礎研究

国際学会発表

海外留学

日本泌尿器科学会指導医取得各種専門医取得（腹腔鏡、癌治療、小児泌尿器、排尿機能など）

国内研修例
- ✓H医師（8-10年目）　国立がん研究センター中央病院
- ✓A医師（12-14年目）　北海道がんセンター

国内留学例
- ✓W医師（8-10年目）　生理学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター

海外留学例
- ✓K医師（10-11年目）　ピッツバーグ大学泌尿器科（米国）
- ✓W医師（14-15年目）　ピッツバーグ大学泌尿器科（米国）

10-15年目～
- 個人の目標、ライフスタイルに合わせて複数の選択肢
- 決して個人の進路は強要されません

泌尿器科専門医
- 大学で研究・臨床の最先端に携わる
- 地方の病院で地域医療を支えながら内視鏡手術メイン
- 専門に特化した病院にて活躍(結石専門など)
- 開業して自分のペースで外来診療のみ
- 基幹病院にて臨床の第一線で活躍

「女性泌尿器科医の会」という全国的な横の繋がりで支え合う組織もあります。

2017年5月
日本泌尿器科学会総会
女性泌尿器科医の会

当科医局員および入局予定者数名が参加しました

当教室は子育て中の医師を全力でサポートしています。
- 保育園のお迎えなどがある日は定時での帰宅を認めています。
- お子様の急な病気の時は、出勤時間の繰り下げや、早退を認めています。

当教室後期研修医の言葉

萬上弘子　先生（2014年卒）

私は旭川医大病院で2年間初期研修を行いました。もともと後期研修は旭川医大と決めていましたが、学生時代に入局先は決めきれず、初期研修で興味のある科を選択して、各医局の雰囲気や診療内容等を見た上で入局先を決めるために大学での研修を選びました。
まず1年目は臨床研修プログラムに沿って、内科を6か月、救急科を3か月、選択必修科を3か月研修しました。働いてみると想像以上に忙しく、責任感が伴うため辛いと感じることもありましたが、それ以上に毎日が充実しており、どの科の先生方も優しく熱心に御指導下さるため、大学の研修を選択して本当に良かったと感じました。各科それぞれ違う魅力があり、なかなか入局先を決めきれずにいましたが、初期研修1年目の冬に選択した腎泌尿器外科での研修が想像以上に楽しく、当初予定していた1か月の研修を3か月まで延長してそのまま入局を決めました。学生時代は腎泌尿器外科の実習は春休み直前だったこともあり、正直ほとんど記憶にありません。今思うともう少し真面目に実習していればと思う反面、研修では全然印象が違うと感じたため、もし私と同じように将来旭川医大に残る予定で学生時代に入局先を決められなかった人はぜひ色々な科を研修してみたら良いと思います。
初期研修2年目は腎泌尿器外科のローテーションを中心として、特に関連の強い科（消化器外科、産婦人科、麻酔科、緩和ケア科等）を研修し、将来に必要な知識を学びました。研修で回った科の先生方とは今でもすれ違いざまに話したり、コンサルテーションしたりとお世話になる機会が多いため、大学で初期研修をしていたことは強みと感じています。きっとどの病院で初期研修をしても充実したものにはなると思いますが、ぜひ大学病院での研修も考えて頂ければと思います（腎泌尿器外科の研修もぜひとってください！）

旭川医大でのストレート研修

阿部紀之　先生（2015年卒）

私は富良野市出身で現在のAO枠で入学しました。もともと手術に興味がありましたが、学年が上がり様々な分野を勉強していくと、内科系や小児科系にも惹かれました。そのようななか、4年生末に行った地元の富良野協会病院の病院見学で、授業ではイメージの付かなかった泌尿器科の手術を見学したことをきっかけに泌尿器科に興味を持ちました。実習することで、「診断から治療まで」「子供から大人まで」「QOL疾患から感染症から腫瘍疾患まで」「内視鏡手術から腹腔鏡手術からロボット手術から開腹手術まで」携わるという非常に多岐にわたる診療科であることがわかり、先生方の真面目ながらも楽しく仕事をしている雰囲気にも惹かれ、5年生末に腎泌尿器外科への入局を決めました。入局を決めたことで、アドバンスでは地元富良野で実習させていただいたり、
同期の舘岡先生とともに神戸の全国学会に参加させていただいたりと非常に楽しい1時間を過ごしました。そして、あっという間にマッチングの時期になり初期研修先を悩みました。柿崎教授はじめ当時医局長の北先生、富良野協会病院の小山内先生のご厚意で、旭川医大と富良野でのたすき掛け研修にさせていただきました。大学研修では、たくさんの同期がいたため相談でき支え合いながら研修生活を送れました。泌尿器科への入局を決めていたことから、各科指導医の先生方には重要点をまとめた指導をしていただき、当直対応や将来の診療に活かせる知識を身に着けることに迷うことなく集中できました。2年目の富良野での研修は同期の菊池先生と切磋琢磨する毎日でした。1年目で学んだ内容（特に当直対応）を活かしつつ、6か月間研修した泌尿器科での手術をはじめ多くの手技を経験できました。2年間を終えて非常にいい研修をすごしたと思っております。
3年目になり大学に戻り、現在は忙しくも充実した毎日を過ごしています。上の先生方にも手厚い指導をいただき、仕事終わりや休日にはご飯や飲みに行ったり、ゴルフをしたりと和気あいあいとさせていただいています。泌尿器科は僕の初期研修のように皆さんの希望に沿った研修を提供します。いろんなことがしてみたいから専門科なんて選べないと思っている皆さん、おいしいお酒が飲みたいと思っている皆さん、アットホームな雰囲気の泌尿器科で一緒に働いてみませんか？みなさんの入局を待っています！

旭川医大→富良野協会のたすき掛け研修

連絡先　医局長　安住（あずみ）まで。
E-mail: mazumi@asahikawa-med.ac.jp
Facebook:
https://www.facebook.com/asahikawaika.urology/

随時相談受け付けています。気軽にメールください。直接腎泌尿器外科医局（総合研究棟8F）に来てもらっても構いません。